

放課後等デイサービス ココ・チャレ

【お問い合わせ先】チャレジョブセンター桶川 TEL048-789-5300

放課後等デイサービス【ココ・チャレ】は、「就労準備型」のスタイルで、将来の「働くこと」「就職すること」について学習、体験をしてもらうことを目的とした放課後等デイサービスです。学校卒業後、社会生活で必要とされるスキルを身につけられるようなカリキュラムを取り入れています。

- ◆ココチャレでは、早い段階の準備が将来の選択肢を広げ、就職を真剣に考えることにつながると考えています。
- ◆就労移行と連携しているからこそ出来る企業見学や体験も、ココ・チャレならではの取り組みです。
- ◆「仕事」に対するイメージもつきやすく、楽しく就活準備ができると好評です。
- ◆ご利用のご相談は随時受付中です。



◆◆◆同時募集◆◆◆

チャレジョブセンターでは、就労相談・事業所説明会随時受付中！
仕事の適性をみたい 定着した職に就きたい こどもの将来が心配 など
上記のようなことでお悩みの方は、お気軽にご相談下さい。

★記事中のセミナー、イベントの詳細は Facebook でご覧いただけます。

★HPアドレスは ⇒ <http://challe-job.co.jp>

HPQR はこちら



【お申込み・お問合せ先】

チャレジョブセンター熊谷

TEL : 048-578-8401

FAX : 048-578-8402

熊谷市桜木町1-1-1

秩父鉄道ビル1F (熊谷駅南口徒歩0分)

チャレジョブセンター桶川

TEL : 048-789-5300

FAX : 048-789-5301

桶川市若宮1-2-16

伸光ビル2F (桶川駅西口徒歩3分)



障害者就労移行支援事業所
チャレジョブセンター熊谷

チャレ*くま通信

「チャレ*くま通信」はチャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する就労移行支援事業所の広報誌です。
就職に不安のある方はお気軽にご相談ください。

No. 32
平成30年
3月号



お雛さまになったのらぼちすけくん&ポチ

資格取得を目指す訓練コース開講中！

🖥️ MOS 認定試験合格者にお話を伺いました！ 🖱️

チャレジョブセンター熊谷では、パソコン利用技術や事務処理能力の実質的な向上を図るとともに、企業応募に際してのスキルの客観的評価を得るため、専門の訓練コース「PC訓練コース」を開講しています。このコースでは、MOS (Microsoft Office Specialist 認定試験) や日商PC検定等の受験とその準備・対策を専門スタッフが個別指導でサポートしています。

2月に入り、MOS Word スペシャリストの認定試験を受験した利用者さんお二人から、相次いで合格の報告が入ってまいりました。そこで、今回の受験の経験を踏まえて、今後、新たに受験される利用者さんの受験対策に資するべくお話を伺いました。

Aさんは、事務職(パソコンを使用するデスクワーク)を希望する男性。Wordのスキルはどんな職場でも必要になる可能性が高いと考え、MOS Wordを受験することにしました。基本的には専用のテキストを使用して学習し、繰り返し模擬プログラムに取り組み、間違えたところを重点的に復習して隙間を埋め、90~100%の得点を安定して出せるようにしました。勉強内容で気を付けなければならなかった点は、設問に対してどの機能を使用すれば良いのかの見極めにありました。そこで、問題文をじっくりと読んで、意味を良く理解して解答するよう心掛けたとのこと。次は、Excelの受験を考えています。MOS受験では、とにかく落ち着いて問題文を良く読むことが大切、と話してくださいました。

同じく、事務職希望の男性Bさん。パソコンを使えるようになって就職活動に向けて自分に自信をつけたいと考え受験しました。テキストに沿って操作方法を学び、ひと通りテキストを終えたら模擬試験を繰り返し行い正解率を上げていきました。パソコンそのものの機能とWordの機能の両方を覚え操作するのが難しく、とにかく覚えることに必死になりました。今後は、さらにパソコンのスキルアップに繋がるような検定試験に挑戦していきたいとのこと。パソコンスキルは、ほぼゼロからのスタートでも、絶対合格するという強い気持ちと集中力をもって勉強し、受験への自信をつけると良いと思います。とのことでした。

今後、このお二人のさらなるスキルアップを期待するとともに、ほかの多くの利用者さんが検定試験に挑戦し、合格することを願っています。

企業実習への取り組みと成果



訓練が進み就労間近となってくると、企業での実際の業務を経験し、自身の生活リズムと就労リズムとのマッチングを図ることを目的に、企業の実習に入ることがあります。また、訓練中盤からの職種研究の一環として、“体験する”ということに重点を置いた実習を行うこともあります。ここでは、就労間近の利用者さんが昨年半ばから企業実習を積み重ねてきた形跡を振り返り、実習に臨んだご本人のコメントと共にその成果をお伝えします。

Cさんは、昨年9月に大手自動車メーカーの部品を製作している製造工場で職人気質の担当者からマンツーマンで仕事を教わりました。12月には、空缶・ペットボトル等のリサイクル工場で、ライン作業に組み込まれて日々立ちっ放しで業務を行いました。そして、今年に入って2月には軽作業を中心とした作業部門を持つ企業で、大勢の社員さんとコミュニケーションを取りながら作業の一部を任されて仕上げるということを経験しました。

3社三様の実務体験を経てCさんの就労の方向性が確定しました。Cさん曰く、『コミュニケーションが上手くできるか心配でしたので、企業実習で業務だけでなく周りの社員の方々と触れ合えたのが、最大の決め手となりました。』

チャレジョブセンター熊谷では、今後も多彩な企業実習で利用者の就労をバックアップしてまいります。

～『時事問題グループセミナー』はじめました！～

2月から新たに始まったこのセミナーは、時事問題等のテーマについて、**検索・調査・分析**をし、**グループディスカッション**でまとめ、その内容について**発表**をしていただくというグループワークです。この繰り返しの通して、時事問題の理解を深めます。

新事業の企画や、企業が直面する課題の解決、時事問題に関する意見交換など、「正解のないテーマ」を元に議論を行い、制限時間内に結論を出していくものです。その過程で、司会・進行役(リーダー)、タイムキーパー、書記、ディスカッションもりあげ隊の役割を受け持ち、各々がどのような役割を果たし、いかにグループとしての結果に貢献することができるか、チャレンジしています。

【これまでのテーマ】

- ① 平昌オリンピックの『平昌』とは、どんなところ？
- ② 新しい国民の祝日を考えてみましょう。
- ③ 世界で誇れる日本の食とは。

※利用者の声

- ・これまで会議等では何も言えなかったのが、良い訓練になると思います。
- ・皆さんの意見を聞き逃すことがないように気をつけたい。
- ・メンバー全員が積極的に発言をし、白熱した話し合いがしたいです。

そもそも「企業で働くこと」とは、周りと協力し合って仕事を進めていくということです。協調性やコミュニケーション能力、思考力や発想力について考え、体験してみましょう！



チョコフォンデュ会

バレンタインデーのチョコ熱気も一段落した去る2月17日(土)、チャレジョブセンター

熊谷では、土曜余暇として「チョコフォンデュ会」を開催しました。

マシュマロ、ビスケット、プリッツ、鈴カステラ、バナナ、みかん、パイナップルの中から、参加者それぞれに好きな具材を選んで、溶かしたチ

ョコレートに浸して食します。

甘いものが好きな人も、そうでもない人も、和気あいあいと

歓談しながら、もう十分というまでチョコレートを堪能した後、

残りのチョコレートにミルクを注いでホットチョコレートに……。思った以上に

本格的な味に一同びっくり。最後まで甘さを楽しんだ土曜余暇となりました。



《今月の手芸》

組み紐の「フレスレット」

2月の手芸の時間では、組み紐を使って「フレスレット」を作成しました。まず始めに組み紐づくり。先生が手作りで用意してくれた組み紐編み機(丸く切った紙をラミネートして切れ込みを入れたもの)に、各々好きな色の糸を渡して規則的に編み上げていきます。一定の長さまで編み上げたらボタンを付けて出来上がり。手首にまわして止めれば、ハイ！美しいフレスレットが完成しましたよ！

